

ロシアは ウクライナ侵略を 直ちに止めよ

侵略戦争は絶対に許さない

ロシア政府による軍事侵略は、ウクライナの主権と領土を侵すものであり、明白な国連憲章、国際法に反するもので絶対に許されません。ロシアの軍事攻撃で子どもや市民が犠牲になっています。ロシアを批判する各国に対してプーチン大統領が「最も強力な核保有国家」だと威嚇していることも重大です。世界中で、そしてロシアでも「戦争反対」の声が広がっています。「ロシア軍は直ちに撤退せよ」の声をご一緒にあげましょう。

「軍事対軍事」で平和は守れない

ロシアの軍事侵略を口実に、日米同盟と軍事力強化や核武装が声高に言われています。軍事対軍事では平和を守ることはできません。ロシアによる核兵器の威嚇と使用の危険性は、改めて核兵器禁止条約の意義を浮き彫りにしています。「力対力」の論理ではなく、日本政府が唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約を直ちに批准するとともに、武力の行使を禁じた国連憲章と憲法9条にもとづく外交努力の先頭に立つことこそが求められます。



2022年2月28日に行われたロシア大使館前での抗議行動

「力の論理」ではなく
憲法9条いかした
外交努力を

改憲ではなく
コロナ対策強化を

衆議院の憲法審査会では、自民党や公明党、維新の会や国民民主党がコロナ禍でのオンライン国会などを口実に緊急事態条項の創設を求めています。いま必要なのは、いのちを守るコロナ対策であり、中小業者や困窮者への支援と給付です。緊急事態条項は、国会の関与なく政府の権限で私権制限などを自由に決められるものであり、ドイツでのナチス独裁を可能にした危険な条項です。改憲ではなく、憲法をいかした政治こそが必要です。

